

(別紙様式10)

2019 年度 北極域研究共同推進拠点 共同研究等報告書

申請区分: 萌芽的異分野連携共同研究 共同推進研究
 産学官連携フュージビリティ・スタディ
 共同研究集会 産学官連携課題設定集会

研究課題名: 日本の北極域研究計画検討集会

研究期間: 2019 年度

共同研究員	氏名	所属・職名	専門分野	区分 (注 1)
研究代表者	青木輝夫	国立極地研究所・教授	大気・雪氷放射学	
研究分担者 (拠点外)	飯島慈裕	三重大学・准教授	自然地理学, 寒冷圏陸域の学際共同研究, 大気-陸面相相互作用研究	
	岸上 伸啓	人間文化研究機構・理事	文化人類学	
	堀 雅裕	宇宙航空研究開発機構・主任研究開発員	リモートセンシング	
研究分担者 (拠点内)	兒玉裕二	国立極地研究所・特任教授	雪氷学	
	田畑伸一郎	北海道大学・教授	スラブ・ユーラシア経済, 比較経済体制論	
	西野茂人	海洋研究開発機構・技術研究主任	海洋物理, 海洋化学, 極域海洋学	
研究協力者 (注 2)		JCAR 長期構想WGメンバーなど		

【研究の内容】

(1) 図表や写真も交えて、研究の内容や成果等を 1000 字程度で簡潔に以下にまとめてください。

本研究は、北極環境研究コンソーシアム(JCAR)にある「長期構想ワーキンググループ(WG)」の活動を振り返り、課題の抽出と将来の北極研究に結びつく活動を行うものである。今年度、本件に関して JCAR のメンバーで 2 つの方向性が議論され研究集会の開催を検討した。

1) 第 2 期長期構想のとりまとめ

第 1 期の長期構想は 2015 年度に開催された第 3 回国際北極研究計画会議(ICARPⅢ)に向けて日本の研究者間で初めて取りまとめが行われ、2014 年に『北極環境研究の長期構想』の冊子として刊行することができた。その後、GRENE 北極気候変動研究事業の終了とともに、長期構想の点検とそれまでの成果を振り返り、2018 年度には J-ARC Net の支援を得て『北極環境研究の長期構想—

増補改訂版』をまとめることができた。

しかし、北極域研究推進プロジェクト(ArCS)の終了も踏まえてその成果の紹介や北極を取り巻く環境変化、社会情勢の変化など長期構想で検討すべき内容を改めて検討する時期に来ているというのがコミュニティの共通認識と確認した。この点において(2)章の表に示す6月21日の会合で議論を行い、国際的に北極研究の将来を検討する第4回国際北極研究計画会議(ICARPIV、2024年頃)に向けて、日本のコミュニティから新たな10年スケールの北極研究構想をインプットするため、遅くとも2021年には大改訂を出したほうがよいという結論になった。そのため、2020年度に内容と執筆者を選定して活動を開始する必要があることから、今年度中に本予算を利用してワークショップを実施することを検討していたが、WGメンバーの決定が遅れ、ワークショップの実施に至らなかった。

2) 砕氷観測船利用に向けたWG

JCARでは、2019年2月に文部科学省へ「砕氷機能を有する北極域調査船に関する要望書」を提出した。これを受けて長期構想の内容とも結びつく活動の一環として「砕氷観測船利用(仮称)WG」の立ち上げ検討を行い、2020年2月にWGメンバーを選出してWGを立ち上げた。先の要望書を執筆したメンバーと海洋系研究者に加え、社会実装を想定して社会科学系研究者も含めた15名が集まり、2020年度の概算要求に向けて砕氷観測船の建造が盛り込まれるための提案・要望書のアウトプットを出せる体制を整えた。本来の科学的研究で利用するほか、教育面での活用や人材育成に結びつく利用機会の提供、先住民への貢献や在来知との統合を想定した利用ができないかなどの意見が出ている。

2020年の2月から3月中に本予算を利用して砕氷観測船利用に向けた提案を検討するためのワークショップを開催する予定でいたが、WGメンバーの決定が遅れたことと新型コロナウイルスの感染拡大を考慮して3月19日にWEB会議を開催し、活動方針を議論した。

(2) 本共同研究に関連する活動(研究打合せ、学会参加、調査等)を実施した場合には、下表に記入してください。

日程(月日)	日数(日)	活動内容	場所	共同研究員・研究協力者の参加者名	参加者数(人)
6月21日	1	長期構想WGについて	情報研	田畑、兒玉 JCARメンバー	13
9月、10月、11月、12月	1	砕氷船WG立ち上げについて	ネット会議	兒玉、JCARメンバー4名	5
1月21日	1	砕氷船WG立ち上げについて審議	メール	兒玉、JCARメンバー	16
2月7日～		砕氷船WGメン	メール	兒玉、JCARメンバー	15

27 日		バーの候補者案 と選出	ル		
------	--	----------------	---	--	--

【研究論文や著書等】

著者名(共著者名含む)、発行年、論文タイトル、掲載誌名、巻・号、ページ数、DOI、査読の有無、インパクトファクター(IF、分かれば)、分野(表下にある(注 3)から一つ番号を選択)を記入して下さい。

なし

【研究発表】

以下の事項をご記入ください。

発表年月日、発表者名(共著者を含む)、発表タイトル、発表学会等名称、発表地(国、県、市など)、招待講演についてはその点も明記してください。

なし

【特許等】

特許・実用新案・商標などの出願がありましたら記載願います。

【本共同研究に関連して実施した集会(注 4)等】

(注 4) 共同研究者、研究協力者、招へい者以外を含む参加募集によるもの

実施日、実施地(国、県、市など)、集会等名称、概略内容、対象者(「主に研究者」あるいは「主に研究者以外」)、参加人数(「主に研究者を対象」とした場合は外国研究機関の所属者の内数についても括弧内に明記ください。)

なし

【本共同研究の発展】

本共同研究の成果が科学研究費などの外部資金の応募(予定を含む)やプロジェクトに発展した例があればご記入ください。

なし

【アウトリーチ、取材、その他】

取材・新聞掲載などがありましたら、日時、新聞名、記事コピーを添付して頂くようにお願いします。

なし